



鳥取新時代を切りひらく

鳥取県知事 平井 伸治

ハローワークの廃止——昨年四月に知事に就任して以来、初めての本格的な予算となる平成二十年度当初予算編成の最中、その通告は正に突然でした。

「組織合理化の一環として、県内五カ所のハローワークのうち二カ所を廃止する」という国に対して、県と地元市町は直ちに方針の撤回を迫ったものの、事実上決まった後の通告です。最終的には、廃止の撤回こそかないませんでした。関係者と協議を重ねた結果、県内でも特に雇用情勢の悪い当該二地域のために、国と県と地元市町が連携して、平成二十年四月に「鳥取県版ハローワーク」を設置し、職業相談・職業紹介・就業支援サービスの提供を始めました。

「自立と連携」、これが当県におけるキーワードです。

地元の実情や関係者の御意見を十分に踏まえて、市町村、企業、各種団体、NPO等と連携しながら、地域の課題の解決に向けて取り組む。「鳥取県版ハローワーク」もその成果の一つであり、このような方針の下、当県では四つの柱の重点施策を進めています。

二元的な産業 しっかり雇用

地域の企業経営者等で組織した「鳥取県経済・雇用振興キャピネット」等の御意見を踏まえ、企業が利用しやすい制度へと既存の企業支援制度の見直しを行うほか、流動資産を担保とする融資制度の創設を行います。これ

は、不動産価格の下落によって従来型の不動産を担保とした融資が厳しくなっている中小企業者の資金繰りの円滑化のため、売掛債権と棚卸資産を担保とした融資に県が利子補給を行うという制度で、資金調達が多様化を進めるものです。

また、安全・安心でおいしい当県の食材や物産を、「食のみやこ鳥取県」として全国に情報発信するため、常設のアンテナショップを東京に開設し、県産品の販路開拓・拡大につなげていきます。

【人間第一 環境日本一】

家庭、地域、職場等、社会全体で「健康を育てる」という意識を育み、当県の豊かな自然や食材、地域の人材を生かした「健康づくり文化」の創造に取り組むとともに、地元の大学と連携した奨学金制度の創設により、地域医療を支える人材を育成します。

また、少子高齢化・人口減少時代に対応していくため、仕事と生活の調和を意味する「ワーク・ライフ・バランス」の考え方を広め、男女ともに能力を十分に発揮できる職場環境づくりを進めます。

さらに、小売店や消費者団体等によるレジ袋削減の取組の協定締結を支援し、県民運動として展開していきます。

【学び育み 輝く文化】

小中学校の少人数学級を引き続き実施するとともに、国際化時代に対応するため、全国

を先取りして当県独自に、全市町村の小学校で英語活動に取り組みます。また、企業、商店と連携した子育て応援バスポート事業を充実させ、社会全体で子育て家庭を応援します。さらに、世界に誇るべき地質遺産である「山陰海岸」の、日本初の「世界ジオパークネットワーク」加盟を目指して、関係自治体や地元の皆様と連携して取り組みます。

【安全・安心 いきいき地域】

万一の災害発生時に即応できるよう、県施設で緊急地震速報が受信できる体制を整備するとともに、自助・共助・公助が連携した体制づくりのため、防災・危機管理対策の基本条例策定に取り組みます。

環日本海地域とのこれまでの交流を生かしつつ、日・韓・口を結ぶ新たな貨客船定期航路の実現も目指し、北東アジアにおける当県の地位を確立します。また、開通が迫った「鳥取自動車道」により、関西圏との経済・観光面での連携強化を進めます。

このような重点施策に取り組み一方、当県は現在、概ね十年後の目標、道しるべとなる「将来ビジョン」の策定を進めています。

県民の皆様と将来を展望し、夢を描く。夢の実現に向けて、県民一人ひとりが主体となつて、企業、各種団体、NPO、大学、行政と連携しながら地域づくりを進める。

そんなビジョンとともに、鳥取新時代を切りひらいていきます。